

新たな市営霊園管理料制度の方向性

令和6年5月31日

札幌市保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課

1 市営霊園の現状と課題

① 市営霊園の設備や管理事務所の老朽化



名称	開設年月	管理事務所建築年
平岸霊園	S16年 8 月	S63年
里塚霊園	S41年 6 月	S46年
手稲平和霊園	S48年 8 月	S49年

課題

- 開設から50年以上が経過し、建物や園路などが老朽化。バリアフリー化も進んでいない
- H29年度の調査時点で、管理事務所の建替や構築物の修繕等に少なくとも約17億円を要する見込み

② 維持管理費用・修繕費の増加

■市営霊園の運営に必要な経費

現状
(主に事後保全)

計画的改修
(予防保全・バリアフリー)

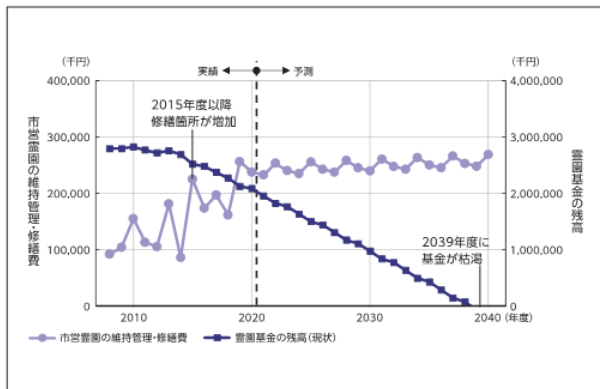
運営管理費	草刈、清掃、除雪、お盆対応、光熱水費等の運営に係る経費	年間約 8 千万～1 億円程度	
墓地整備費	樹木の伐採、園路等の修繕に係る経費	年間約 8 千万～1 億円程度	支出増
人件費	霊園管理に係る職員費	年間約 5 千万円程度	

課題

- 現状、不具合が生じた場合に修繕する事後保全での対応が主になっているうえ、修繕箇所は年々増加傾向にある
- 霊園使用者が安全かつ快適に墓参できるよう、予防保全やバリアフリー化など計画的に改修を進める必要がある

③ 霊園基金の逡減

使用許可時に墓地使用料（永代）と共用部分の清掃手数料（20年分）を一括徴収し、それらを積み立てた霊園基金の運用益により市営霊園を維持管理している。（直近の料金改定はH7年度）



■墓地使用料・清掃手数料の額（4㎡の場合）

墓地使用料	清掃手数料
204,800円	103,200円 (1,290円/㎡/年)

課題

- 基金運用益により永代的に維持管理していく制度設計が破綻
- 清掃手数料を追加徴収する制度がなく、R21年度には基金が枯渇する見通し

④ 無縁化が疑われる墓の増加



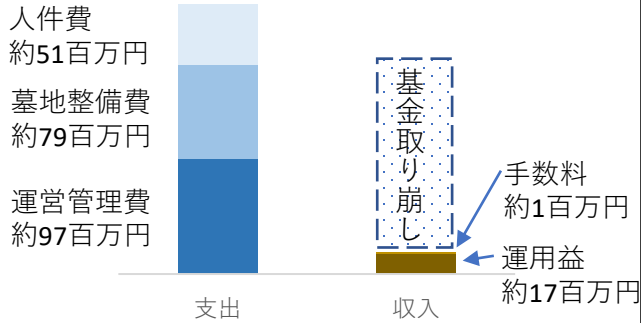
使用者と定期的に連絡を取る機会がないため、無縁化に陥りやすい
(連絡先不明件数:約5千件)

課題

- 少子高齢化や核家族化の進展に伴い、今後も無縁化が懸念される
- 承継者がいる場合は、承継手続きを促していく必要がある（使用者平均年齢73歳）
- 承継者がいない場合は、円滑な墓じまいにつながる取組が必要

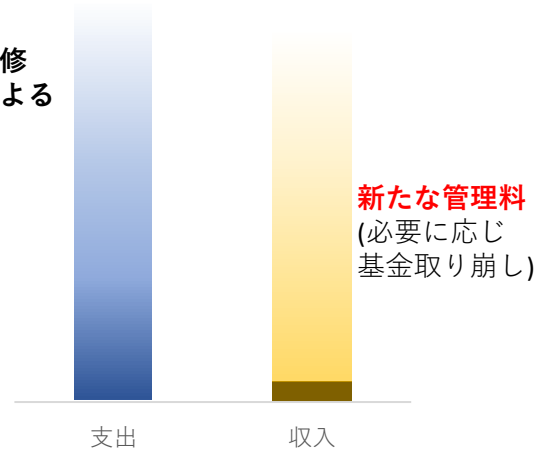
2 新たな管理料制度の方向性

【現状（R6年度予算）】



【今後】

計画改修
などによる
支出増



新たな管理料の料金水準の考え方

計画的に改修を進めて、安全快適に墓参できる環境を整えるため、計画改修を含めた運営費用を負担していただくが、極力過度な負担にならないよう、現在の清掃手数料（平均約7,700円/区画/年）に物件費や人件費高騰分を勘案して検討する

現状の清掃手数料【年換算】：5,160円（4m²区画）～ 20,640円（16m²区画）

※市営霊園は、緑地としての役割を持つほか近隣住民の散策の場ともなっているため、必ずしも維持管理費用の全額を受益者負担とはしない

	考え方	方向性	他都市状況（政令市）
料金水準	上記のとおり	現在の清掃手数料を目安に検討	
徴収頻度	無縁化の抑制	1年ごと	1年:13市 5年:2市 20年:1市 徴収無し:3市
徴収単位	- 負担の公平化(共用部分の管理費用であり、墓所面積に応じた負担はなじまない) - 面積が広い墓所使用者の負担軽減 - 徴収に係る事務負担軽減・誤徴収防止	区画単位	m ² :10市 区画:11市
許可取消に係る滞納年数	滞納してない方との不公平感を少なくする（ただし、墓石は祭祀に関する財産のため、慎重な取扱いが必要）	3年程度	3年:8市 5年:3市
減免制度	支払いできないために、墓じまいせざるを得ないような事態をなるべく回避（ただし、支払い能力のある親族への承継を促す必要あり）	生活困窮者または原則減免なし	あり:10市 無し:6市

無縁化疑い墓への対応

戸籍調査や承継の勧奨等により、極力早期に解消を図る

新制度開始後に使用者が判明した場合は、制度開始時点にさかのぼって管理料を徴収する

市民アンケート

【市営霊園利用者】

- ・対象者：平岸霊園・里塚霊園・手稲平和霊園の使用者 500人
- ・回収数・率：回収数162件、回収率32.4%
- ・性別：男性73.5%、女性25.9%
- ・年齢：70代以上53.7%、60代29.6%、50代以下16.0%

【市民無作為抽出】

- ・対象者：無作為抽出した18歳以上の市民500人
- ・回収数・率：回収数153件、回収率30.6%
- ・性別：女性62.7%、男性36.6%
- ・年齢：60代22.9%、50代20.3%、70代以上19.6%、40代18.3%

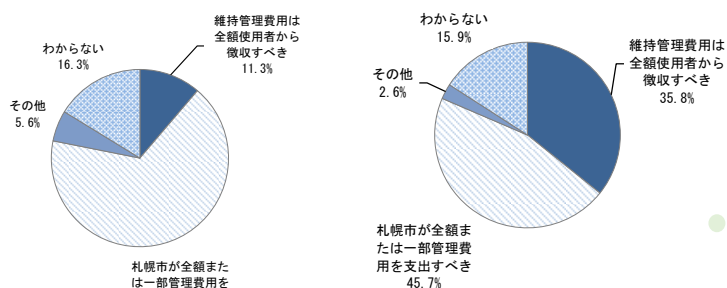
結果抜粋

（１）維持管理費用に関する意見【市営霊園利用者・市民無作為抽出】

<設問>あなたは、市営霊園の維持管理費用を今後どうしていきべきと思いますか。

■市営霊園利用者

■市民無作為抽出



(1つだけ選択、回答者数=160、無回答除く)

(1つだけ選択、回答者数=153、無回答除く)

「札幌市が全額または一部管理費用を支出すべき」の回答割合が最も多かった。

市営霊園利用者と市民無作為抽出で、回答の比率に違いがみられた

<設問>市営霊園の維持管理は清掃だけではなく、樹木の伐採など必要となっている実態に合わせ、清掃手数料の名称を変更し、使用開始から20年を経過している使用者から管理料として維持管理にかかる費用の追加徴収を検討しています。このことについて、ご意見やご要望がございましたらご記入ください。【市営霊園利用者】（回答者数=62）

肯定的意見（34件）

「賛成」8件、「条件付き賛成」11件、「やむを得ない」15件

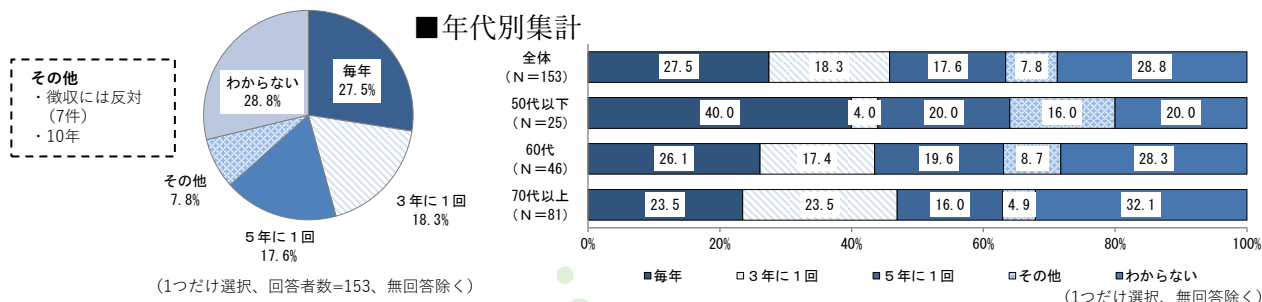
否定的意見（22件）

「生活に余裕がない」5件、「先に（他に）やるべきことがある」3件、「反対」14件

（２）管理料徴収頻度【市営霊園利用者】

<設問>管理料を定期的に徴収する場合、あなたは、どれくらいの徴収頻度がよいと思いますか。

■年代別集計



(1つだけ選択、回答者数=153、無回答除く)

(1つだけ選択、無回答除く)

「わからない」を除くと「毎年」の割合が最も多く、特に50代以下は約4割が回答